



**皆様おはようございます。
または、こんにちはこんばんわ。**

行橋ロータリークラブ様のご支援
のもとブラジルの4510地区に留
学させていただいている。

原田亜美と申します。

**一年間どうぞよろしく
お願いいたします！**





ブラジル 留学日記

～十月編～

目次

3ページ：4～27日 4ページ：28～30日

5ページ以降：ペルー旅行記録

10月4日～5日

2年前日本に留学に来ていたミゲルのお家
に、お泊まりに行きました。ミゲルは、私
の兄と交換で日本に来ていたプレジデンテ
プルデントに住んでいます。朝早くから出
発して、遊びに行きました。

ミゲルの親戚も集合しみんなでご飯を食べ
たり遊んだりと楽しく過ごしました。
私はプレゼントに、兄も留学中数度プレゼ
ントさらた8リットルのアサイのアイスを買
いました。



10月7日

本日は学校で大学の見学があり、大学に行
きました。人体や生物について研究している
ところらしく、死んでしまった動物の体や、
剥製がありました。

放課後は、白玉団子をホストシスターと一
緒に作って食べました。



10月10日

学校でお菓子を貰いました！

イチゴ味のマシュマロをチョコでコーティン
グされていてとても美味しかったです。

10月14日～27日

ペルーへ旅行に行きました。

(詳しくは5ページからのペルー旅行記録を参照)



10月28日

ペルー旅行は終わり、私は途中バスの旅を挟みながらもマリリアに帰ってきました。旅行中29日にホストチェンジが急遽決まり荷造りに取り掛かりました。



10月29日 ホストチェンジをしました。

10月30日

ブラジルに持ってきていた形を作っていた帯が、糸が切れ形が崩れてしまったので縫い合わせました。とても固く大変だったので、この帯を用意してくれた祖母には感謝が止まりません。

（この帯の形めっちゃかわいくないですか？）



ペルー旅行記録



目録

- ペルーへ
- チチカカ湖
- オリヤンタイタンボ
- マチュピチュ
- クスコ
- ナスカの地上絵
- パラカス
- リマ



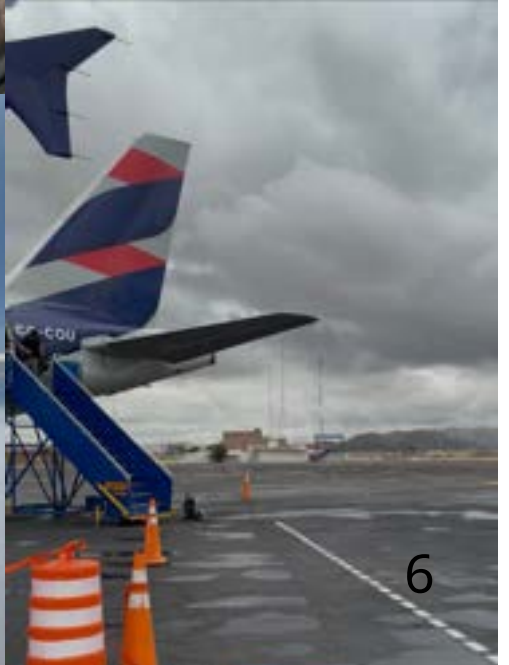
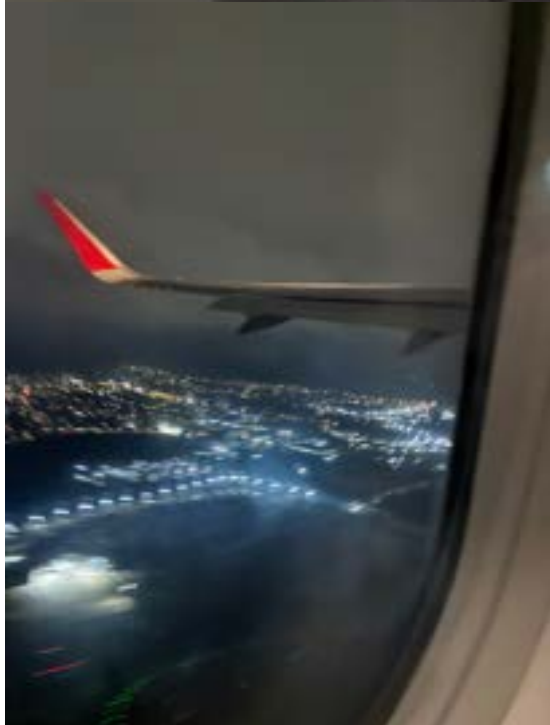
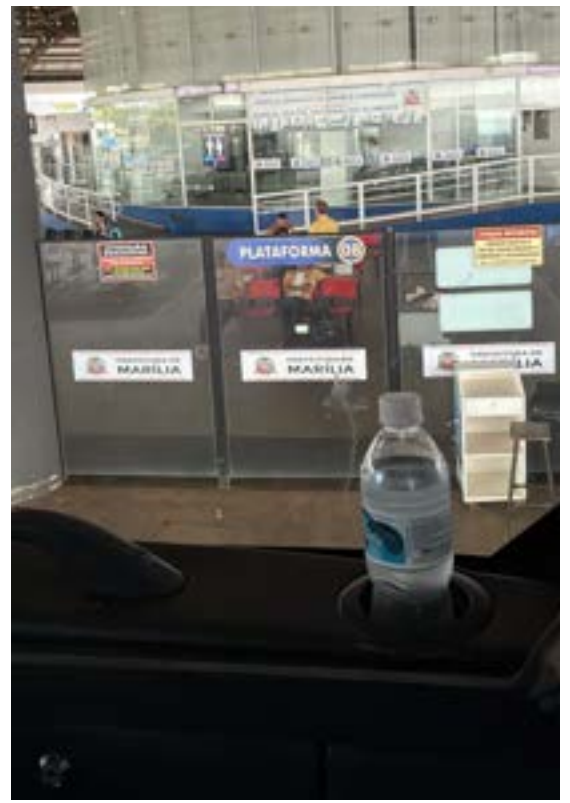
ペルーへ

本日からペルーの旅行が始まります！
飛行機の出発は25時過ぎで、集合時間は午後六時半頃なのですが、私のいるマリリアから今回の旅行に参加するのは私一人だけだったので私は昼頃にバウルに行き、バウルの留学生と午後まで過ごしました。

バウルまではバスを利用して一人で行きました。

午後、集合場所で合流をして、空港へ向かいました。ペルーへ向けて出発します。着いてからは乗り継ぎを挟んで高地に行き、バスに乗り換えチチカカ湖へ向います。

チチカカ湖へ向かう途中現地のフルーツを食べたりしました。



チチカカ湖

チチカカ湖に到着後、2つのボートに別れて、泊まるホテルに向かいます。ホテルと言っても、人工の浮島が今回2泊宿泊する場所です。

浮島にある家屋は、日本で触れることが出来ない現地の文化満載で、とても貴重な経験ができました。

私はチチカカ湖で、高山病になってしまったため、あまり活発には動きませんでしたが、湖はとても綺麗で、そこにいるというだけで、とても楽しかったです。そして、その場にいてこそしか触れることが出来ない、現地の文化に触れ、大切な思い出が沢山できました。



チチカカ湖では、左の写真のボートに乗って漁の様子を観察したりトトラ(葦の1種、浮島の土台として使用)について教えてもらいました。また、浮島の作成方法なども教えてもらいました。最終日には、記念として伝統衣装を着せてもらったりと貴重な経験をさせて貰うことが出来ました。



オリャンタイタンボ

途中遺跡によりながら、オリャンタイタンボの街に行きました。オリャンタイタンボは、街中から遺跡がいくつも見える街で、その場にいるだけでとても楽しかったです。

道中遺跡に数箇所寄っていたので街に着いたのは、日が沈み始めた頃でした。なので、ホテルに着いたら自由行動となり、私は他の留学生たちと一緒に夜ご飯を食べに行きました。



翌日私たちは、朝早くからオリャンタイタンボ遺跡に行きました。この遺跡は、階段で上まで登らないと行けなかったもので、頂上に登りきった時にはクタクタになっていました。

遺跡の観光を終え、ホテルには昼前に帰りつきました。

その後休憩を挟み昼前にトレイルにのり、マチュピチュに向かいました。



マチュピチュ

昼過ぎにマチュピチュ村に到着したあとは、自由行動となりそれぞれ遅い昼食に向かいました。

昼食後は、温泉に向かいました。その後は夕食の時間まで、自由行動となりました。



夜ご飯は今回の旅行に参加した全員で食事をしました。その時モルモットを食べましたが、人生初で、人生最後のモルモットだと思います。可哀想だから、なかなか食べられるものでないからという理由で、今後食べないだろうと判断したのではなく、あまり美味しいと思えなかったからです。二度と食べたいとは思わないと思います。ししゃもやピーマフを食べないと食べることを避けられない時、または命がかからない限り、自ら食べることは二度とないと思います。まあけれど、ししゃもやピーマフは、存在そのものから忌避する存在ですが、それよりはマシだと思いました。(△個人の感想です。)

マチュピチュ村についての翌日、それぞれの方法で、マチュピチュまで向かいました。私と1人を覗いたロータリーの方はバス、その他の留学生と1名のロータリーの方は、登山をして、マチュピチュに向かいました。(帰りは疲れたのかバスに乗っていました。)ちなみに、最初からバスを選択した私は、ロータリーの方から賢い選択だと慰められましたが、こちらら文化部だと心の中で悪態を着きました。時には優しさが心をえぐるんです。一応運動しようかなあとは、思っているんです。(初日から、遺跡探索で歩く度、バテているところを、全員に見られています。)





心を切りかえて、マチュピチュは圧巻の一言につきました。私は天気に恵まれたおかげで、霧が少なく、はっきりとマチュピチュの全貌を拝むことが出来ました。一步また一步と、足を進める事に見えてくるマチュピチュは、人生で1度は行ってみたいと言われるに正しく。その姿を視界におさめている間、心は興奮が収まらず、山の頂上にある天空都市とも言われる遺跡に、私は目と心を輝かせました。

マチュピチュの全貌を見たあとは、中を探索しました。遺跡を観察していて、まず気になったのは水路でした。あまり大きなものではなく、雨水などを流すために作られているものがありました。水路をちよろちよろと流れている水を、眺めるのは楽しかったです。探索している最中、日本にはいない珍しいうさぎを見たり、時刻や方角を図る石などをみたり、石像をみたりと探索をして私たちはマチュピチュを後にしました。



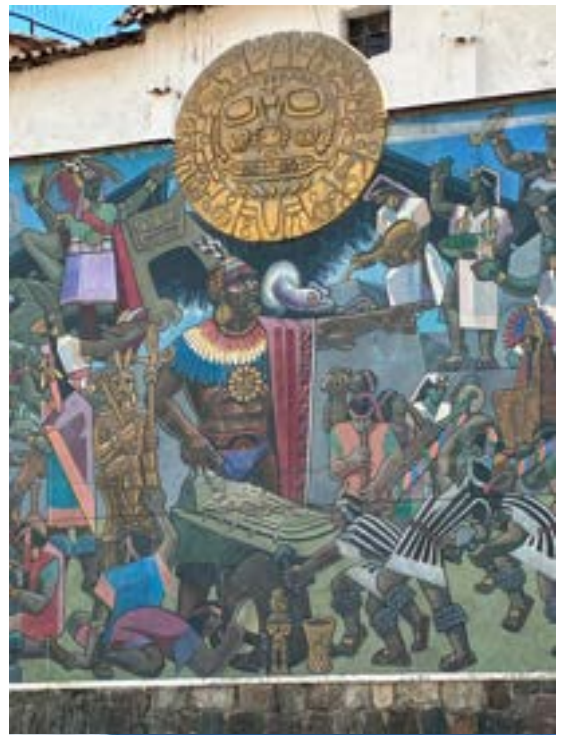
その後、ホテルに帰ったあとは自由時間となりそれぞれ夕食を食べたり、買い物をしたりと楽しく過ごしました。翌日はクスコに向かいました。



クスコ

クスコに行く道中遺跡により、午後三時頃クスコのホテルへと到着しました。クスコのホテルには2泊、宿泊しました。初日は早くから自由行動となり好きに過ごしました。

クスコ2日目、私たちは2箇所の遺跡とラマの動物園に行きました。ラマの毛を扱っている場所でもあったため、糸の染色方法などを教えてもらいました。また、作業をしているところまで見せて頂きました。翌日は、クスコ市街を探索しました。午前は、ガイドさんの元博物館などに赴き、午後はそれぞれで観光しました。



ナスカの地上絵



クスコを後にした私たちは、夜行バスを利用し、移動を行いナスカの地上絵近くのホテルに着きました。

ホテルで朝食をたべ、1、2時間の休憩を挟んだ後、私たちはナスカの地上絵を見に向かいました。

到着後、諸々の受付を終え、私たちはセスナにそれぞれ別れて乗車しました。

飛び立ったあと、ナスカの地上絵をポイントごとに巡り、上空から鑑賞しました。どの位置に座っている人も見えるよう交互に車体を傾けてくれたのでしっかりと見る事が出来ました。(90度程傾けていましたが、乗っている時は考えないことにしていました。)

上空から鑑賞した翌日、私達は昨日見た中の1箇所だけ、近くまで行き地上絵を1キロもない距離から見ました。

その後は、地上絵を研究したマリア・ライヘさんの博物館に行きました。この博物館はマリアさんが、生前住んでいた家を改装し作られた博物館で、敷地の中には彼女のお墓もあります。



パラカス



ナスカの地上絵を見たあと、私たちはパラカスに来ました。パラカスでは、リゾートホテルに泊まりました。ホテルには、昼過ぎだったので、ホテルの中にある飲食店で軽く食事を取りました。

その後私は、少し歩いた先にある海辺に向かいました。海辺からホテルに帰る際、日が沈みかけていてとても綺麗でした。

翌日、私たちはボートに乗り、バジェスタス島の観光ツアーに参加しました。バジェスタス島では、アザラシやペンギン、鳥を見ました。途中写真を撮ろうと活発に動いた結果、船酔いになり、ダウトしたりと楽しく過ごしました。(; _ _)//\\



リマ

パラカスを経て、バスに揺られると数時間日が沈んだ頃リマの町に到着しました。リマには2泊滞在し、ペルー旅行最後を楽しみました。

到着した翌日は、市内観光をし市内にある遺跡、博物館など様々な場所を見て回りました。ちょうどお祭りでも行われていたのかパレードを見ることが出来とても楽しかったです。最終日は、日が沈むまで自由行動だったので楽しく過ごしました。



道中の遺跡

△写真のみ



動画になってしまうため乗せませんが、マチュピチュに向かう道中の列車の中でも遺跡の残骸のようなものを見ました。

